

にほんごがくしゅうかい **日本語学習会のご案内** あんない

つき 月 month	ひ 日 date	ひ 日 date
6月	10日	24日
7月	8日	22日
8月	5日	

じかん **時間 time**

- ・ 13 : 30 ~ 15 : 00
- ・ 19 : 30 ~ 21 : 00

※天候等により教室が延期になる場合があります。あらかじめ、ご了承ください。  
Please note that the event may be postponed due to weather conditions, etc.

ばしょ くらよしじんけんぶんか  
場 所：倉吉市人権文化センター

ないよう にちじょうせいかつ ひつよう にほんご まな  
内 容：日常生活に必要な日本語を学ぶ



# ま ず な

倉吉市人権文化センターだより

2026年5月1日 発行 No.185号  
発行所：倉吉市人権文化センター  
住 所：倉吉市鍛冶町1丁目2971-2  
電 話/FAX：0858-22-4768  
メールアドレス：jinkenbunka@ncn-k.net

## 今年度も日本語学習会がはじまりました！

This year's Japanese language study group has started again!



### 学習のようす

A look at learning



桜餅も作りました！



倉吉市人権文化センターでは、倉吉市内に在住する日本語の習得を希望する人を対象に、日本語を通じて安心・安全な生活ができること、また仲間と楽しく過ごすことを目的に、日本語学習会を開催しています。

参加者、日本語と一緒に勉強してくださるボランティアを募集しています。一緒に楽しく学びませんか？皆様の参加をお待ちしています！

Kurayoshi City Human Rights and Culture Center holds Japanese language study sessions for people living in Kurayoshi City who wish to learn Japanese, with the aim of enabling them to live a safe and secure life through Japanese, and to have fun with their friends. We are looking for participants and volunteers to study Japanese with us. Would you like to have fun learning with us? We look forward to your participation!

### がつ よてい 5月の予定

ひ 日	がつ 月	にち 日	すい 水	じかん 時間
5月13日	5月27日			13 : 30 ~ 15 : 00 19 : 30 ~ 21 : 00

### ～ボランティアの方を募集しています！

日本語学習会では受講者の皆さんと一緒に日本語を学び、指導していただくボランティアの方を募集します。詳しくは倉吉市人権文化センターまでお問い合わせください。

申込・問合せ… 倉吉市人権文化センター (☎0858-22-4768)

### ◎生活の中でお困りのことはありませんか？

相談



一人で抱え込まずに相談してみませんか？  
お困りのことがあればお気軽にお越しください。  
電話対応もいたします。  
※ご相談いただいた内容は秘密厳守いたします。  
安心してご相談ください。

### ◎差別落書きや人権侵害に気づいたら！すぐにお知らせください！

差別発言などの人権侵害や差別落書きは許されない行為です。発見された場合は倉吉市人権政策課または最寄りの人権文化センターまでご連絡ください。

連絡先：倉吉市人権政策課 ☎ (0858) 22-8130  
倉吉市人権文化センター ☎ (0858) 22-4768



## 学習会「狭山事件」一人芝居

石蓆(つわぶき)の花～石川一雄・短歌に託して～

(出演) 岩崎 正芳さん (フルート等演奏) 南雲 武雄さん (音響・照明等) 青木 明兄さん

日時:5月9日(土) 受付 9:30～ **入場無料**

学習会 10:00～11:10 総会 11:20～12:00

場所:倉吉交流プラザ 視聴覚ホール

「狭山事件」(1963 年発生)で無期懲役が確定し、無実を訴え続けていた石川一雄さんが 2025 (令和 7)年 3 月 11 日に 86 歳で死去されました。今、狭山事件を「過去の事件」ではなく「現在進行形の人権問題」として共有し、事件の背景にある部落差別や冤罪の問題を社会に問い続けることが求められています。

学習会は、石川一雄さんの獄中の短歌をもとに、元教員の岩崎正芳さんが演じる一人芝居を上演します。石川一雄さんは、31 年 7 か月もの間、獄中生活を強いられましたが、自らの境遇と無実を短歌に詠み、短歌集を出しておられます。その短歌 19 首をもとに岩崎さんが芝居に構成されました。題名の「石蓆(つわぶき)の花」は、石川一雄さんの短歌「獄窓は皆閉ざされて音もなく降る雨の中に石蓆(つわぶき)の花」からとっています。

### 会員以外の方もご参加できます。

参加申込みは必要ありませんが、会場の席に限りがありますので、先着順とさせていただきます。

倉吉市人権教育研究会事務局 (倉吉市人権政策課内)

電話 0858-22-8130 FAX 0858-22-8230

電子メール jinkenseisaku@city.kurayoshi.lg.jp

※自然災害等で総会を中止する場合には当日までに倉吉市ホームページでお知らせします。

第 58 回

# 倉吉市人権教育研究会 総会・学習会

## 毎年 5 月 5 日から 11 日までは 「こどもまんなか児童福祉週間」

すべてのこどもが安心して生き、健やかに成長できる社会の実現を目指し、

こども家庭庁を中心に全国で啓発活動が行われています。

こどもが安心して過ごすためには、一人ひとりの違いが受け止められることが大切です。

## みんな同じじゃなくていい ～どうしてみんなと同じようにできないの?～



- 音に敏感 ○集団が苦手
- こだわりが強い
- 気持ちを言葉にすることが難しい

それは努力不足ではなく  
そのこどもの「特性」かもしれません。

こども達は一人ひとり違います。

多様性を尊重することは、違いをなくすことではなく、

違いを認め合うことです。

「どうしてできないの?」ではなく

「どうしたら安心できるか」と考えてみることに。

それも、こどもの人権を守る大切な一歩です。